

## 令和2年度 第2回 学校評議員会 報告

- 1 日 時 令和2年10月30日（金）午前9時20分から11時まで
- 2 場 所 静岡県立東部特別支援学校伊豆高原分校
- 3 出席者 荻野 耕介 伊豆介護センター職員  
田畑まどか 富戸地区放課後児童クラブ  
島田 晴夫 元伊東市立中学校教諭  
(学校) 勝又 将也 (教頭) 長崎 智子 (高等部主事) 内田香津子 (教務課長)
- 4 内容 司会 (長崎) 記録 (内田)
  - (1) あいさつ (教頭)
  - (2) 令和2年度 学校の状況 (長崎高等部主事)
    - ・コロナ禍の中、安心・安全を第一に考え学習を展開している。
    - ・学校行事などがほとんど行えない状況で、保護者との連携が非常に難しくなっている。
    - ・本日の「凌雲祭」も多くの方の協力のもと何とか開催できるようになった。
    - ・地域との交流 (共生共育) なかなか出来ていない状況になっている。
  - (3) 意見交換
    - 新型コロナウイルス感染症対応について
      - 介護施設や放課後児童クラブも厳しい状況の中対応に追われている。介護施設では、職員も多く、職員間の温度差がある。外部から来られる人 (食材等の搬入) に対する対応のガイドラインの検討をしている段階。学童全体の組織はなく、学童毎に対応を決めている。基本は学校に登校できた児童は受入が出来るという姿勢である。
      - これから寒くなり、どのように対応していけばいいのか
      - 外で遊ぶ子どもが少なくなった。オンラインゲームを家でしている子が増えたのでは。携帯の指導が難しい。
    - 前期学校評価について
      - 保護者、生徒、教職員の意見を受け止めて、来年度の学校経営計画に生かしていくことが大切だと思う。
    - コミュニティスクールについて
      - 以前より、評議員の方の意見を学校経営に取り入れているので、今後も「地域とともにある学校づくり」をしていけばいいと思う。
  - (4) 凌雲祭 見学 (オープニングセレモニー)
    - 太鼓の演奏は、とても心に響くものがあり、是非いろんな所で発表する機会を計画してほしい。伊豆高原の生徒たちのことを分かってもらえると感じた。